

令和2年度 学校評価報告書

学校名	三田市立上野台中学校
-----	------------

1 学校教育目標

<p>「夢や志をもち、心豊かでたくましく生き抜く生徒の育成」</p> <p>【めざす学校像】《生徒一人一人の発達を支援し、安心して学べる環境づくり》</p> <p>◆成長を支える学校 <学力の定着と向上、生徒の発達や学びの支援、特別支援教育の視点></p> <p>◆健康・安全・安心の学校 <基本的な生活習慣の支援、適切な危機管理></p> <p>◆あたたかい学校 <迅速・組織的生徒指導、教育相談の充実、共感的生徒理解、あたたかい言動></p> <p>◆開かれた学校 <学校・家庭・地域の連携、学校園所連携、関係機関との連携></p> <p>【めざす生徒像】《自ら求め、自ら学び、自ら考え、感じる心を持った心豊かに生きる人づくり》</p> <p>《立志: 未来予想図を描き、実現に挑む生徒》</p> <p>《創造: 意欲を持ち、創り出しやり抜く生徒》</p> <p>《敬愛: 自他を大切にし、前向きで心豊かな生徒》</p>

2 今年度の学校重点目標

<p>【重点課題】</p> <p>①学力向上へ向けた授業改善の工夫 ②不登校生徒への支援の充実</p> <p>③特別支援教育の充実 ④人権教育の充実</p> <p>～「気づき、感じ、考え、伝え、行動する力の向上」「メタ認知力向上」「レジリエンスの意識と活用」～</p> <p>『あじみこそ』により自律性や社会性を育む</p> <p><あ: 気持ちの良い挨拶をする じ: 時間を守る み: 身だしなみに気を配る</p> <p>こ: 言葉遣いに気をつける ぞ: 掃除を熱心にする></p>

3 総合的な自己評価

<p>新型コロナウイルス感染症予防対策等の中で、6月からの学校再開だった。「花開く明日を取り戻せ！」を合言葉に、それまであった生徒の心づかいや優しさ、人を応援する気持ちを取り戻そうと取り組んだ。生徒は概ね落ち着いた学校生活で、人の気持ちをわかって行動しようとし、人の役に立とうと頑張っている。教職員は感染対策や消毒など、新しい生活様式の定着に心を配りながら、人を思いやることの大切さや感染拡大防止を支えてもらっている人の大切さを伝えつつ、生徒の「心」を大切にしてきた。悩みや困ったことはどの教職員にでも生徒が相談できる体制をつくり取り組んでいることを生徒も保護者も概ね良好に評価している。</p> <p>学校を参観する機会が極端に減ったが、生徒の頑張りや教職員の取り組みに保護者がある一定の評価をしている。しかし、今後も、さらに一人一人をよく見て、どの生徒も大切にしたい取り組みを強化することが課題である。また、学習指導として、次年度から全面実施する新学習指導要領により、主体的、対話的で深い学びに繋がるように、取り組みを進める。</p>

4 総合的な学校関係者評価

<p>生徒は学校生活を楽んでいる。学校で授業を見る機会はほぼなかったが、10月の授業参観や和文化体験、学校・学年通信、学校 HP、行事での参観等で生徒の状況が掴める。教職員が丁寧に情報発信を心掛けている。今後も一層努めて貰いたい。</p> <p>生徒は教職員の授業の工夫を理解しているが、生徒の興味関心を引き出し探求心の向上に繋がる授業改善に期待する。今年コロナ禍の中、日本では「手作りマスク」が普及した。学校の家庭科で裁縫を学習している良さが顕れた。家庭での時間増が生徒の興味関心を引き出し生きて働く力ともなった。今後、小中連携で学校の授業以外で机に向かって勉強する習慣づくりや「何のために勉強するのか」を意識して、探求心を向上させてほしい。</p> <p>読書は考える力の向上に繋がる。また、世界で今起こっていることに興味を持ち、考える力を養ってほしい。コロナ禍で生徒は様々なストレスを抱えている。生徒が安全に安心して生活できる工夫と、できる教育活動を今年同様に感染対策の工夫で実施してもらいたい。</p>

5 評価結果

自己評価				学校関係者評価
分野・領域	評価項目(取組内容)	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
教育課程 学習指導	臨時休校後の教育課程を再編成。主体的・対話的で深い学びに繋がる生徒の意欲から「分かる授業」への授業改善と学力向上。	長期休業期間大幅短縮や考査日数減等の工夫で授業時数の確保。2 学期校内授業研究会と全教員授業公開実施。授業改善への教職員の意識改革で成果。	次年度授業時数は確保できる見通し。小中連携の活性化で授業改善を進める。	生徒の興味関心を引き出し、探求心の向上に繋がる授業改善に期待。学力向上へ引き続き個に応じた支援が必要。
	学校園所連携の充実により、学力向上に関わる実践の推進と規律ある学習・生活習慣づくりに取り組む。	新型コロナウイルス感染症対策で校区学校園所連携による職員研修等実施できず。生徒会の交流や幼中の活動、通信等の紙面により何とか連携の継続。	コロナ禍で他校との交流は限られるが、継続してできる学校園所連携を模索する。	学力向上の取組を堅持。探求心と共に学校の授業以外で生徒が学習習慣をつける支援の工夫を。
生徒指導 いじめ防止	感染対策で安全安心を第一に取り組み、教育相談の充実を図る。生徒の共感的理解に基づいた指導と、発達への支援の充実。	「こころのアンケート」毎月実施で教育相談充実。Ue チューターで生徒が職員指名し相談。生徒の実態に応じた支援策や専門家の助言等で個々対応に成果。	アンケートから早期に生徒の悩みを聞き取る。特別支援教育の更なる推進と充実。	感染対策の徹底と教職員の負担軽減と。生徒の個に応じた指導・支援の工夫とともに、信頼される教職員であって貰いたい。
	「いじめ防止基本方針」に基づいた迅速かつ組織的な対応。	学校生活アンケートや「こころのアンケート」Ue チューター制に基づく早期の相談体制に成果。教職員の意識改革や生徒の人間関係づくりへの支援が課題。	いじめを許さない個人・集団づくりの継続。他者との関わり方の支援の充実を図る。	「どんな人になりたいのか」考え、判断して行動できる人の育成を。発達に応じた支援はどの生徒にとっても力となる。
教職員の 資質向上	新学習指導要領の次年度全面実施を見据えて研修を積む。特別支援教育の視点から分かりやすい学習指導の工夫、授業改善。	生徒各自がタブレット機器を使い校内授業研究会実施。全教員授業公開。教職員の意識改革で成果。特別支援教育の相談研修充実、支援体制に成果。	GIGA スクールへ、機器活用と授業改善で生徒の学習意欲の向上を図る。	生徒は教職員の授業の工夫を理解し、信頼もしているが、どの生徒の成長や頑張りをも認め讃える工夫が必要。
	人権意識・危機管理意識の向上と組織的対応。家庭・地域に信頼される学校づくり。	「花開く明日を取り戻せ！」独自の DVD 作成。Ue チューターで生徒が職員を指名して相談。制服選択制導入。人権に配慮した環境づくりに成果。	生徒が気づき、考え、判断し、関わる力の向上を図る。他者と良好な関係づくりを推進。	ダメなことを教職員がきちんと指導すると生徒や保護者も評価。生徒が考え、判断する機会の創出を。
開かれた 学校づくり	学校園所連携で安心して学べる学習環境づくり。	学校園所連携へ組織的連携体制を継続。学校通信を地域施設等で掲示、小6生・保護者への配付。今年中止した校区幼小全職員研修の実施が課題。	授業改善への連携と子どもが探求心を育む指導・支援策の研究連携を推進。	「匂い袋」を幼小へ配付。コロナ禍でできる学校園所連携の継続を。学校の授業以外で机に向かって勉強する習慣づくりを。
	安全安心の確保に努め、積極的な情報提供、学校・家庭・地域連携でより良い教育環境づくりと多様な教育力の活用。	保護者・生徒・職員で 8 月除草活動実施。地域団体の協力でフジバカマ植栽地の補強と塀設置、ビデオカメラ配備。『虹プロジェクト』で地域へ苗提供、地域で活動展示、生徒が協力団体に説明し交流で成果。「匂い袋」を地域と協力で20歳の卒業生や幼・小へ。	生徒が地域の人と一緒に活動することで頑張り認められ、学校生活で更に頑張ろうとする意欲に繋がる交流活動の推進。	コロナ禍でも通信や学校 HP で状況がわかる。「匂い袋」を通じての交流が地域も元気になっている。交流の継続で生徒の頑張りの源にもなる。